

第73回 関西小児病理研究会

日時:平成27年6月6日(土)

13:30より 口演開始

(13:00より標本閲覧)

今回はシンポジウム「医薬品副作用被害救済制度」を企画しております

本研究会は日本病理学会から専門医資格更新時の教育研修単位
(参加1単位、筆頭発表1単位、共同演者1名のみ1単位、座長1単位)
として認められています

会場:大阪市立総合医療センター3階大会議室

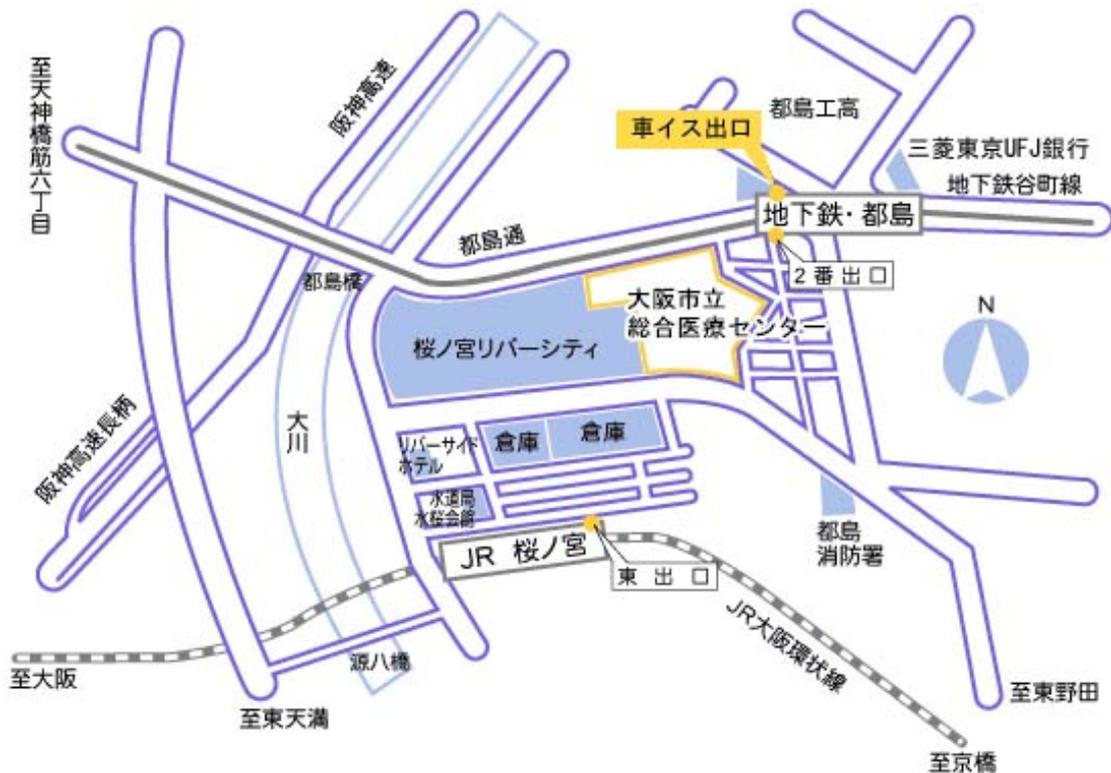
(注:大会議室は3階になっております。院内の案内に沿ってお進み下さい)

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22

電話 06(6929)1221(代表)

交通案内:地下鉄谷町線都島駅2番出口から西へ約3分

JR環状線桜ノ宮駅下車北へ約5分



担当:大阪府立母子保健総合医療センター 検査科 竹内 真

プログラム

○13:30～14:10 座長:兵庫県立こども病院 病理診断科 吉田牧子

1(465) Cap polyposis の一例

大阪府立母子保健総合医療センター 検査科 小西暁子 他

2(466) 成人に発生した神経芽腫の2例

大阪市立総合医療センター 病理診断科 奥野高裕 他

○シンポジウム 14:10～15:20 「医薬品副作用被害救済制度」

座長:大阪府立母子保健総合医療センター 検査科 竹内 真

3(467) 剖検症例での医薬品副作用被害救済制度の経験

京都桂病院 病理診断科 安原裕美子

「医薬品副作用被害救済制度について」

医薬品医療機器総合機構 健康被害救済部 見田 活

○休憩(15:20～15:40)

○15:40～16:20 座長:大阪市立総合医療センター 病理部 奥野高裕

4(468) 小児胸膜腫瘍の1例

近畿大学医学部病理学教室 筑後孝章 他

5(469) Rosette-forming glioneuronal tumor (RGNT)の自験例

大阪市立総合医療センター 病理診断科 福島裕子 他

口演時間は discussion を含めて1題20分となっております。宜しくお願いいたします。

ご発表データは Windows、Mac とともに Power Point 形式で、
USB フラッシュメモリー、または CDRROM でご持参下さい。

アプリケーションは PowerPoint2007 for Win および、
PowerPoint2004 for Mac をご用意しております。